



【いわもと のりこ さん】新富

●「もったいないわ・千歳」の代表として、企業や農家から廃棄される食材を集め市内の福祉施設に無償で提供しています。活動の詳細は岩本さん（☎090-2818-8253）まで。

食材の廃棄を減らしながら
人の輪を広げています



人のいる風景
SCENERY OF PEOPLE



NORIKO
IWAMOTO

岩本

野利子 さん

市内のスーパーや商店にはいつも新鮮な野菜などの食品がたくさん並んでいます。賞味期限が近づいた商品は店先から取り除かれることがあります。農家では育てた野菜を商品としての規格に合わないと廃棄することもあります。

岩本さんは、賞味期限内で廃棄前の食材や規格外の野菜を寄付してもらって、福祉施設に無償提供する活動を行っています。

「福祉施設で給食づくりのボランティアをしたとき、入所者の皆さんに幅広い食事のメニューをと思い八百屋さんから廃棄前の食材をいただいで献立を増やしたのがはじまりです」と活動のきっかけを話します。

現在は、ボランティア団体「もったいないわ・千歳」を立ち上げ、ほかの会員とともに、週に数回、市内の約20の福祉施設に食材を運んでいます。

「福祉施設の方からお礼のお便りが農家に届き、お返しにとまた農家から野菜が届いたことがあります。心と心のつながりは人の輪を広げます。送り手の方と受け手の方の笑顔と笑顔の架け橋になればと思います」と活動への想いを語ります。

「畑に植えられたままの規格外のハクサイがあり直接収穫したことがあります。規格外でも農家の方が丹精込めて生産した野菜です。その気持ちに少しでも報いたい」という岩本

さん。

「会員のガソリン代程度は会費でまかなえるようになりたいと考えています。活動費を支援する賛助会員に登録していただだけでも助かります」。「この活動は、やる気と根気があればできます。興味がある方はぜひ気軽に声をかけてください。ね」とやさしく話してくれました。



食材の仕分け作業